

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイ ゆめときわ2		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 19日	～	令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 19日	～	令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個室が複数あり、用途によって使い分けができる。	イベント・遊び、集中できる環境を作等、その時々ニーズに合わせて個室を使い分けている。また、パニックになってしまった際には、落ち着くまで静かな状況を作り、個別で話が出る環境を作っている。	今後も現在の取り組みを継続しながら、充実させることが出来るところが見れば改善していこうと考えている。
2	利用者様の利用状況が当事業所のみが多く、利用者様の状況の把握がしやすい。	個別支援計画を立てる際に、長期的かつ継続的な支援が見込めるためより子供たちの成長に繋がるような細やかな計画を立てやすい。	継続的に利用して下さるからこそ子どもたちの細かい変化を見逃さないような観察力を養う為、日頃からの情報共有を行っていく。また、保護者様への情報共有をしっかりと行っていく。
3	アットホームな環境なので、お友だちとの関わり方を多く学ぶことができる。	遊びやイベントの中で、SSTやロールプレイを取り入れながら支援している。子ども達のやり取りの中で、あえて職員が介入せずやり取りする力を養ったりしている。トラブル時など職員の介入が必要な際はしっかりと介入するようにしている。	職員が子どもを誘導したり対応する力や知識をつけるために、フロア会議でのケース検討会などを行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会がない。	担当者会議や保護者様から相談を受けた際には、必要に応じて部分的に出来てはいる。しかし、保護者様を招いての研修会などは実施していない。	年に1回の保護者会の回数を増やして保護者様の参加の機会を増やしていくなどの工夫をしていく。また、研修会などを開催できる機会があれば検討していこうと思っている。
2	放課後等児童クラブ・児童館・地域住民との交流がない。	先方や、こちら側にも配慮する点が多く、実施することが難しい。交流することが出来る土曜・祝日は事業所でのイベントを予定しているため難しい。	交流を実施する場合は、長期的な計画を立てながら行う。先方との綿密な情報共有を行う。
3			